

## 2 地域交流の場となる拠点づくり

インバウンド観光客には、地域の人々との交流や体験ツアーが人気であり、コロナ禍前では国内で様々なイベント・ツアー等が行われていた。

そのため、国際観光都市の実現に向けて、空港島を訪れるMICE関係者の余暇の時間に、空港島や前島におけるオープンスペースを活用し、地元住民が交流できる機会を設け、賑わいを深める取組が必要である。

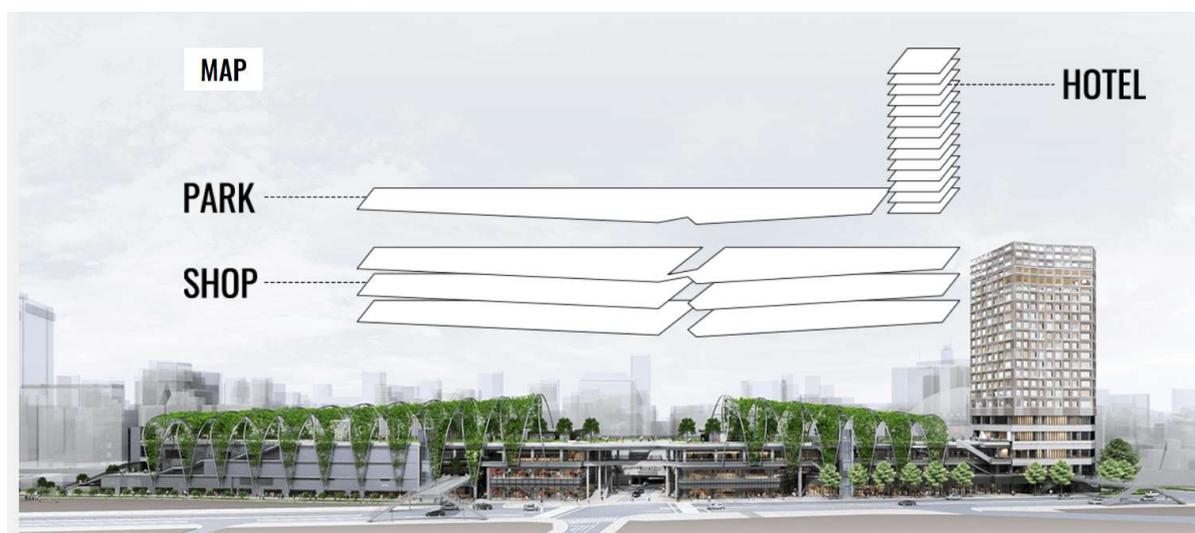
そこで、人々が安心・安全に交流できる機能について検討した。

### (1)誰もが安心して気軽に楽しむことができる施設・空間

人々が安心・安全に利用・滞在できる施設や空間づくりについて、事例を整理した。

#### 1)空間づくり(オープンスペースの整備、憩いの場の整備、賑わいづくり等)

##### ① MIYASHITA PARK (東京都渋谷区)

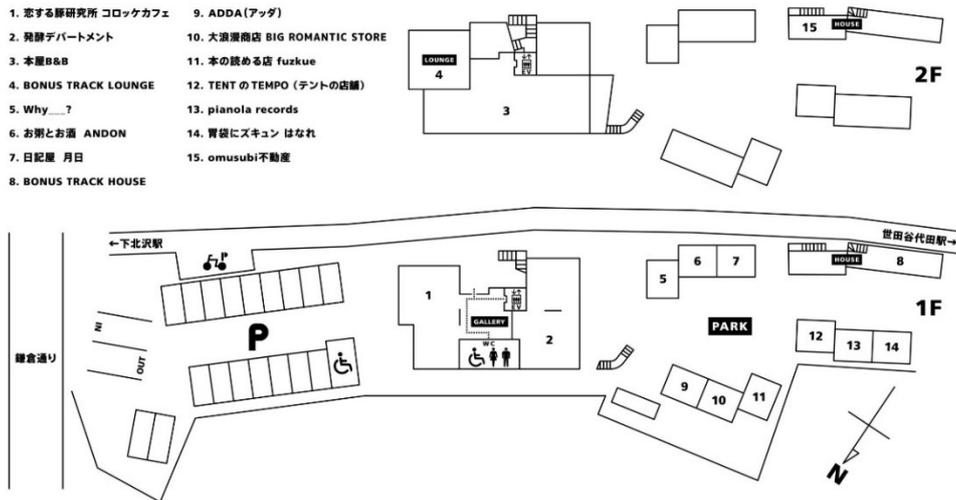


- ・2020年7月に、公園・商業施設・ホテルが一体となった新しいミクストユース型プロジェクトとして街のさらなる賑わい創出を目指して開業した全長約330メートルの低層複合施設
- ・渋谷区と三井不動産が立体都市公園制度を活用し、PPP事業で実施
- ・スケート場やボルダリングウォール、多目的運動施設を新設する他、イベントも開催可能な芝生広場が整備されており、フルフラットでバリアフリーな多機能空間を実現している。
- ・渋谷や原宿、青山、代々木公園等の結節点に位置する立地特性を生かし、新たな歩行者ネットワークの整備や既存ルートの改善、様々なイベント開催を通じ、多種多様な人々の交流を促進する文化発信拠点の形成が目指されている。

(出典) 三井不動産ウェブサイト

## ② BONUS TRACK (東京都世田谷区)

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 恋する豚研究所 コロケカフェ     | 9. ADDA(アッダ)                 |
| 2. 発酵デパートメント          | 10. 大塚酒造店 BIG ROMANTIC STORE |
| 3. 本屋BBB              | 11. 本の読める店 fuzkue            |
| 4. BONUS TRACK LOUNGE | 12. TENT のTEMPO (テントの店舗)     |
| 5. Why...?            | 13. pianola records          |
| 6. お粥とお酒 ANDON        | 14. 胃袋にズキュン はなれ              |
| 7. 日記屋 月日             | 15. omusubi不動産               |
| 8. BONUS TRACK HOUSE  |                              |



1

「であう」

を支援する:

さまざまなヒトやモノ、コトとの  
出会いを通じて  
いろんな個性を発見できる

2

「まじわる」

を支援する:

地域やコミュニティの枠を越え  
それそれぞれがつながり合って  
刺激しあう

3

「うまれる」

を支援する:

新たな絆やチャレンジなど  
シモキタらしいなにかが  
生まれていく

- 2020年4月に東京「下北線路街」(※)のエリアに誕生。飲食店や物販店の他、コワーキングスペースやシェアキッチン、広場等があり、「みんなで使い、みんな育てていく新しいスペース、新しい“まち”」として開設
  - コワーキングスペースやシェアキッチンは定期利用可能なメンバー制を設けている他、広場やギャラリーで開かれるイベントへの参加や、スペースをレンタルしイベントを開催することも可能
- ※小田急線「東北沢駅」～「世田谷代田駅」の地下化に伴い、全長約1.7kmの線路跡地を開発して生まれる新しい街。「BE YOU シモキタらしく。ジブンらしく。」を開発コンセプトに、「であう」「まじわる」「うまれる」の3つの支援を展開している。

(出典) BONUS TRACK ウェブサイト、下北線路街ウェブサイト

### ③ GREEN SPRINGS (東京都立川市)



- 立川駅北側の新街区に、心もからだも健康的なライフスタイルをテーマにした「ウェルビーイングタウン」として2020年4月に開業
- 約10,000㎡の広大な広場をホール、ショップ・レストラン、ホテル、オフィスが取り囲むように立地。広場は、来訪者やオフィス利用者の憩いの場となる他、様々なイベントを実施することで、人とまちをつなぐ場として位置付けられている。
- ホール（TACHIKAWA STAGE GARDEN）は、多摩地区最大規模の約2,500席の多機能ホールで音楽を中心としたエンタテインメント演目のほか、あらゆるイベントや催事にも対応可能。また2階席の後方を開放すると屋外ステージとつながり、屋内外を一体として利用可能なユニークな構造となっている。

(出典) GREEN SPRINGS ウェブサイト、立飛ホールディングスウェブサイト

## 2)ダイバーシティに対応した国際交流の促進

誰もが制限なく、交流ができる場を提供していくため、ダイバーシティの観点から地域での対応をしていく必要がある。

そのため、多様な国籍・文化・宗教を有する外国人旅行者との国際交流の場と捉え、地域住民との国際交流機会を充実させ、受入れ対応が可能な地域環境を創出し、多文化交流・多文化共生が可能な地域を形成する。

### 《事例》

岐阜県高山市では、2021年4月に『飛騨高山フードバリアフリー協議会』が設立され、飛騨高山地域を中心にコーシャ、ハラール、ヴィーガン、ベジタリアン、グルテンフリーなどの食のバリアフリーに対応した地域づくりが進められている。

これまで、飛騨高山ムスリムフレンドリープロジェクトとして、主にイスラームの旅行者が安心して旅行できるよう、ハラール対応ができる飲食店の拡大や情報発信に取り組んでおり、対象をさらに拡大し、イスラームだけでなく、様々な宗教、食の主義・制限を有する旅行者にも対応していく取組である。

地域の飲食店を始めとした観光関連事業者向けにセミナーを開催する等、地域をあげて受入れを進め、より一層の国際交流が活性化していくための取組が展開されている。



WEB開催

### 飛騨高山コーシャ・ハラールセミナー

主催：飛騨高山フードバリアフリー協議会

『農林水産物の輸出強化戦略』に基づいて、国産農林水産物・食品の輸出促進や海外展開を図るため、中東・東南アジアの市場を中心として拡大するハラール（イスラーム教）や欧米を中心として安全・安心の観点からも注目が高まるコーシャ（ユダヤ教）など国際的認証取得を目指す事業者を対象に、関連団体等より講師を迎えて理解を深めるためのセミナーを開催いたします。ご関心のある方は是非ご参加ください。

【日時】2/18(金) 14時～16時 ※WEB開催

【申込】Googleフォームにて受付(2/10(木)締切)

QRコードからお申し込みください。

※1 参加費無料(定員:100名)

※2 お申込みいただいた方には後日、参加方法をメールします。

※3 各講師へご質問がありましたら、事前に記入をお願いします。

第一部	14:00-14:15	第二部	14:15-15:00
・開会挨拶 ・取組紹介 ※飛騨高山での実績紹介含む		・コーシャ関連団体による説明 ①JCS(日本コーシャ協会) ②KJ(コーシャ・ユダヤ教)	

第三部	15:00-15:40	第四部	15:40-16:00
・ハラール関連団体による説明 ①HMS(ハラール・ムスリム協会) ②名古屋モスク		・質疑応答 ・閉会挨拶	

(出典) 飛騨高山フードバリアフリー協議会ウェブサイト

## (2) ビジネス来訪者の交流促進

### 1) テクニカルビジットを通じた地域企業との交流促進

企業を訪問し、その企業の技術や経営理念などについて、工場見学等を通して学ぶ産業視察であるテクニカルビジットを推進し、愛知県への来訪機会を拡大し、国内外のMICE関係者との交流機会を拡大していく。

愛知・名古屋MICE推進協議会では、国内外から当地域を訪れるMICE参加者からの「愛知・名古屋の企業を視察したい」という声に応えるため、テクニカルビジットプロジェクトに取り組んでいる。プロジェクトでは、県内の視察の受け入れが可能な企業等を取りまとめて一覧を作成し、ウェブサイトでPRしている。

### ■ 愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクト参画企業一覧

愛知・名古屋  
テクニカルビジットプロジェクト  
参画企業

- 生産業、販賣業などの国内外でのシェアがナンバーワンである企業
- 取り扱う製品または提供する技術が特長にない企業
- 取り扱う製品または提供する技術が国内(または海外)で初めての企業
- お客様または創発的製品に基づく製品、技術がある企業
- 環境に配慮した製品、技術を有する企業、または二酸化炭素の削減量の削減など、環境負荷低減活動に取り組んでいる企業
- 高度付録エレクトロニクス関連の製品、技術を扱う企業
- 高度付録エレクトロニクス関連の製品、技術を扱う企業
- EV・PHV・FCV関連の製品、技術を扱う企業
- 航空宇宙関連の製品、技術を扱う企業
- 工作機械関連の製品、技術を扱う企業
- ロボット関連の製品、技術を扱う企業
- IoT/モノのインターネット)を活用した製品、技術を扱う企業  
またはIoTをビジネスの基盤に導入している企業
- 健康・美容・長寿関連の製品、技術を扱う企業
- 海外に製造工場または営業所がある企業  
または日本国外に拠点を拡大している企業
- 新しい技術や製品開発のための投資を希望している企業  
または革新的なビジネスモデルを希望している企業
- 男女ともに仕事と家庭の両立ができる社内制度と働き環境を持つ企業
- 留学生の受け入れをしている企業
- ダイバーシティを推進している企業
- ESGがGRIに適合した企業、またはESG関連へ投資した企業

(出典) 愛知・名古屋MICE推進協議会ウェブサイト

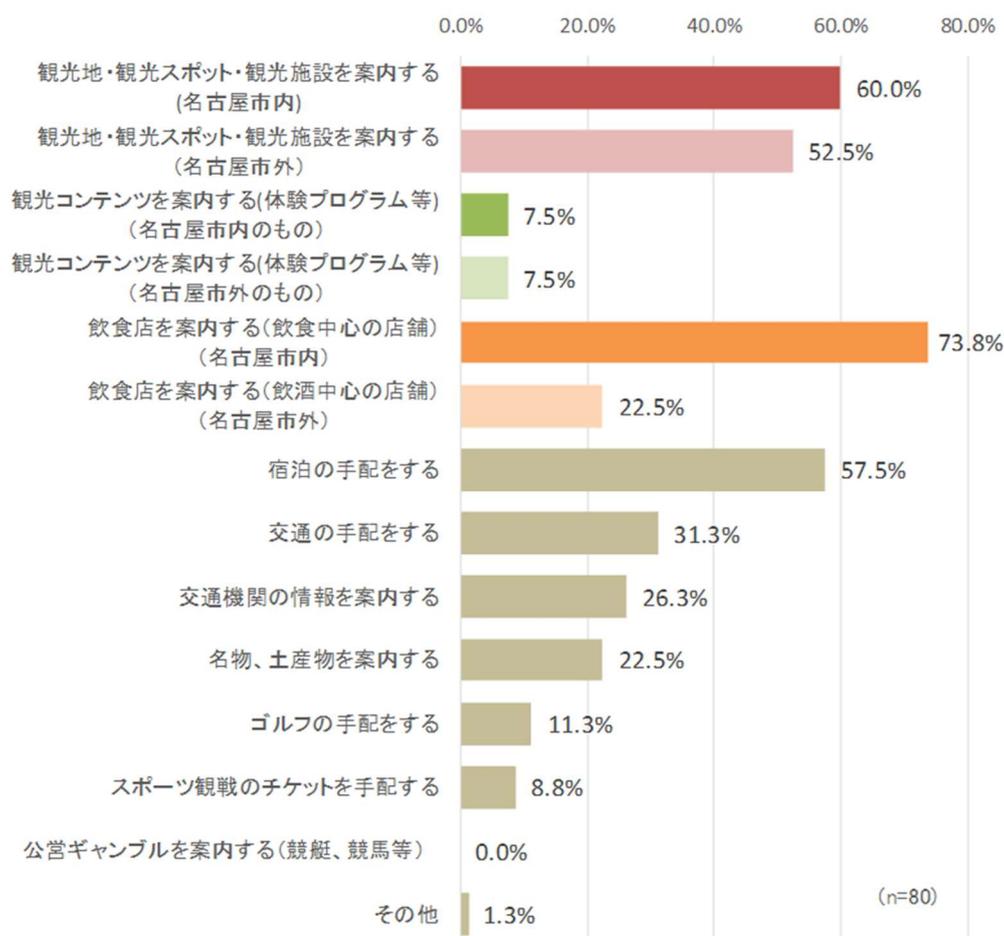
## 2)ブレジャー促進

MICEの更なる国際競争力強化を図るために設置された、MICE誘致主体（都市・コンベンションビューロー）、MICE関連事業者、有識者から成るMICE国際競争力強化委員会が、2018年7月に策定した「MICE国際競争力強化委員会提言」において、「2030年までにMICE関連訪日外国人消費相当額8,000億円」を目指すとの目標が掲げられたところである。本提言において我が国開催の魅力向上施策として「プレ・ポストMICEの促進」を掲げている。その取組のひとつとして、MICE関連訪日外国人が出張の前後に休暇を追加し余暇目的の旅行を行うブレジャーの推進を行うことで、滞在日数や消費単価の向上を図ることが重要であるとされている。

ブレジャーは、労務管理の整理や企業における制度づくりが課題となっているが、愛知県には世界有数のものづくり企業を始め、世界屈指の技術を有した企業が数多く存在し、産業視察や商談等のビジネス交流が盛んな地域であることから、ブレジャーを促進することで地域活性化に繋げることが考えられる。

### ■ブレジャー（BLEISURE）の手配に関する実態調査

名古屋商工会議所会員企業がビジネス来訪者に対して行う「ブレジャーの案内」



(出典) ブレジャー推進セミナー「ビジネス客を観光客へ ブレジャーで地域活性化」  
(主催：名古屋商工会議所、愛知・名古屋MICE推進協議会) 会議資料

## ■ブレジャーのメリット

企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員への有給休暇の取得を促進することができる。</li> <li>・社員のモチベーションが上がる。</li> <li>・優秀な社員の確保および定着化に資するインセンティブとしての活用が可能</li> <li>・訪問先の経験をビジネスでのインプットとすることによる社員の能力向上</li> </ul>
社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費の効率化につながる。</li> <li>・有給休暇が取りやすくなる。</li> <li>・多様な働き方が実現できる。</li> </ul>
観光地 (地域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延泊が望め、消費が増える(地域経済の活性化が期待できる)。</li> <li>・関係人口が増える(地域の理解が深まる)。</li> <li>・再訪が期待できる。</li> </ul>

## ■ブレジャー促進のための課題

企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労務管理上、業務と休暇の線引きが難しく、労災の適用範囲が明確化しづらい。</li> <li>・出張機会の有無により、社員間での不公平感が生じる。</li> <li>・経費精算が複雑化するため、費用負担の考え方の整理が必要</li> <li>・ブレジャー中のワーケーションなど、働き方・休み方の複雑化への対応が必要</li> <li>・導入後活用が進むためにはトップや管理職側が推奨する等、社内風土の醸成について更なる取組が必要</li> </ul>
社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業風土によっては、ブレジャーに関する規定等会社側からの明確な方針提示がないと実施しづらい。</li> <li>・規定がある場合でも、社内風土の醸成が進んでおらず、周囲や上司の理解を得にくい場合がある。</li> <li>・ブレジャーを活用し家族を出張先に帯同した場合、業務時間中に家族にどう楽しんでもらうか、子供を預けられるか等、環境面での心配がある。</li> </ul>
観光地 (地域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張者にうまく観光コンテンツが提供できていない。</li> </ul>

(出典) 観光庁「第2回M I C E参加者のブレジャー促進連絡会」(2020年)

### 3)企業交流イベントの開催

メッセナゴヤに代表される、BtoBの交流イベントについては、新型コロナウイルスを契機に、オンラインとリアルを融合したハイブリッド型の開催が一般的になっている。オンラインは、距離的な制約を無くし、遠隔地の企業との連携や、通常では参加が難しい海外の企業との交流も活発化させることができる可能性を有しており、新たなビジネスの創出に向け、積極的に活用をしていく。



(出典) メッセナゴヤ実行委員会

(写真) 愛知県提供

#### 4)ワークスペースの提供(シェアオフィス、コワーキングスペース等)

##### ① LivingAnywhere Commons (静岡県熱海市等)



- ・場所やライフライン、仕事など、あらゆる制約にしばられることなく、好きな場所でやりたいことをしながら暮らす生き方 (LivingAnywhere) をともに実践することを目的としたコミュニティ。(株式会社 LIFULL が 2019 年 7 月開始運営開始)
- ・全国に 32 拠点 (2022 年 3 月現在) を設置
- ・ワークエリア、コミュニティエリア、レジデンススペース等からなる。

(出典) LivingAnywhere Commons ウェブサイト

##### ② a side -満寿屋- (大分県別府市)



- ・鉄輪温泉にて、元旅館であった空き家をリノベーションし、コワーキングスペース「a side -満寿屋-」を開設 (2019 年 4 月)
- ・休憩がてら温泉に入ること、アイデアが湧き出る「湯ワーキング」を提案。
- ・別府市が出資する一般社団法人 B-biz LINK が企画し、運営は株式会社 HOOD が担っている。
- ・ドロップインや個人会員の他、法人会員、貸切での利用も可能。

(出典) a side -満寿屋-ウェブサイト

### ③ テレワークセンターMINAKAMI（群馬県みなかみ町）



- ・人口減少や少子化を食い止めるため、地元企業・人材と連携したビジネスの創出、移住者の増加を図るため、一般社団法人コトハバ、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、みなかみ町等が連携し、旧幼稚園を改修して開設（2017年）した2階建ての施設
- ・ワークスペース・イベントスペースの他、サテライトオフィスにもなっており入居企業もある。
- ・施設利用者と地元住民が交流できるイベントやワークショップの開催や、施設スタッフによる仕事の合間のおすすめアクティビティの紹介を行っている他、地方での起業に関心がある人向けに、地域での仕事チャレンジを支援する「ローカルチャレンジサポート事業」の拠点として、町内の起業支援組織や地元事業者とつなぐ役割も果たしている。
- ・子育て世代のテレワークを想定し、学童エリアも開設している。

（出典）テレワークセンターMINAKAMI ウェブサイト

## （3）地元住民に親しまれる場づくり

### 1）地元住民・事業者も活用できる空間づくり

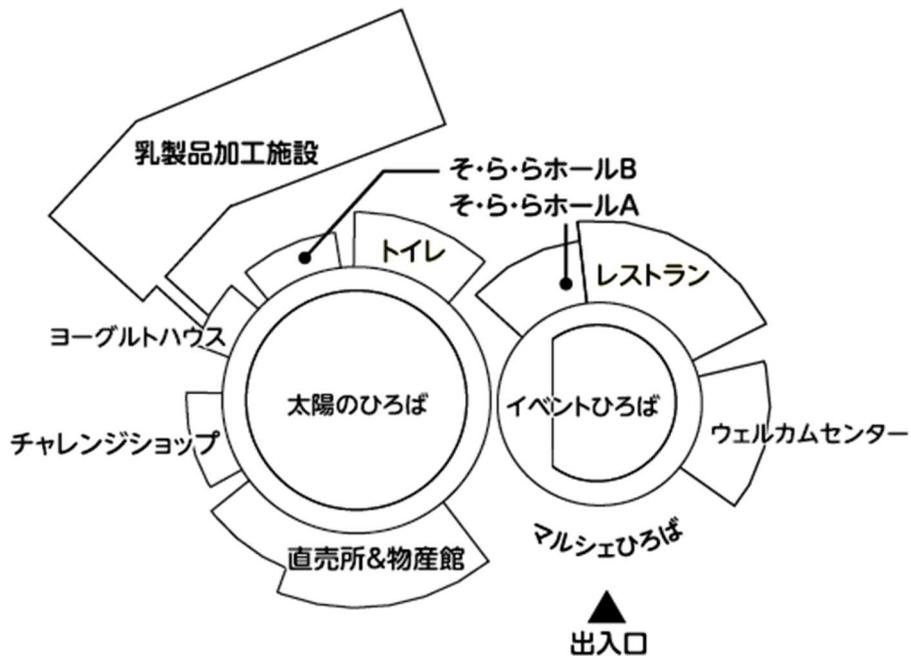
#### ① 羽田イノベーションシティ 区施策活用スペース（東京都大田区）



- ・日本屈指のものづくり技術を誇る大田区内企業をはじめ、国内外大手企業・中堅企業、大学・研究機関、団体、起業家・スタートアップ企業等、多くの人々が集結しイノベーションを創出するための拠点として羽田イノベーションシティ内に設置（2020年7月）されている。
- ・社会課題の解決や新事業創出に意欲のある企業が入居するテナントゾーンと、交流からイノベーションを創出する交流空間ゾーン（PiO PARK）から成る。

（出典）羽田イノベーションシティウェブサイト

② 空のえき そ・ら・ら（茨城県小美玉市）



- ・茨城空港の徒歩圏内に立地する「空のえき」で、小美玉市の豊富な農と食を紹介・販売する、地域再生を目指した市直営の施設（2014年開業）
- ・そ・ら・らホールA・Bは、農と食を学ぶ研修スペースで、体験教室等も開催される。
- ・チャレンジショップは、自分の店舗を持ちたい等の夢を持つ方向けに貸し出しを行っている店舗で、販売活動等を通じて、独立に向けた店舗経営を学びながら地域の活性化を図っている。

（出典）空のえき そ・ら・らウェブサイト

## 2)国際展示会・国際会議開催時における地元連携イベントの実施

### ① ストリートパーティー（福岡県福岡市）



- ・川端商店街やきらめき通りにおいて、地域の歴史・文化に触れられる商店街でのパーティーを実施可能
- ・川端商店街は、アーケードで覆われた全長約 400 メートルあり、福岡で最も歴史の古い商店街で、伝統工芸品や和菓子を扱う老舗が立ち並んでいる。商店街の協力店舗による飲食提供や伝統芸能体験イベント等、商店街と一緒にパーティーを盛り上げることができる。（収容人数（実績ベース）：立食約 1,000 人）
- ・きらめき通りは、福岡市内中心部の繁華街にある全長約 250 メートルの公道である。
- ・福岡アジアファッション拠点推進協議会が主催するイベント「Fashion Week Fukuoka 2015」とのタイアップで開催されたストリートパーティーでは、特設ステージを使ってファッションショーが開催された実績もあり、既存のイベントの一部をストリートパーティーとタイアップして公道で行うことも可能となっている。（収容人数：立食 500 人）

（出典）公益財団法人福岡観光コンベンションビューローウェブサイト

## ② 野毛おもてなしナイト（神奈川県横浜市）



- パシフィコ横浜で開催された国際会議「第39回 地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム 2019 (IGARSS 2019)」の参加者向け公式イベントとして、会場からも徒歩圏にある下町風情漂う居酒屋エリア「野毛地区」の16店舗を対象に、専用のチケットで、1時間ずつ2店舗のはしご酒を楽しむイベントをパシフィコ横浜が企画・実施
- 2018年6月に実施された実証実験を経て活用されたイベントで、2日で約120名が参加し、みなとみらいとは違うローカルな雰囲気を楽しんだ。

(出典) パシフィコ横浜ウェブサイト

### 3) 来訪者と住民ならびに住民同士の交流活動

来訪者と住民の交流活動について、事例を整理した。

#### ① みなとみらい大盆踊り (パシフィコ横浜)



- ・パシフィコ横浜等が主体となり、みなとみらい 21 地区内の働く人と地元住民の交流を図るため、臨港パークにて「みなとみらい大盆踊り」を開催。2007 年から毎年夏（一部年を除く）に開催されており、縁日や地元グルメの屋台コーナーの開設、太鼓やダンスのパフォーマンスなどが行われている。
- ・今では、みなとみらい 21 地区を代表する地域イベントとなっており、25,000 人近くが来場する夏の風物詩となっている。

(出典) パシフィコ横浜ウェブサイト

② 地域交流イベント及び地元企業・店舗誘致による地元住民の顧客化促進  
(仙台国際空港)



【地域交流イベント】

- ・仙台国際空港では地域の人々の発表の場・交流の場として、ターミナルビル1階センタープラザステージを月1回、毎月第3日曜日に開放している。

(出演・観覧ともに無料)

- ・地元である名取・岩沼、仙台市などで活動している様々なサークル団体が出演。小さな子どもから年配の方まで幅広い年齢層の人々がダンスや楽器演奏・合唱・演劇・伝統芸能等を披露し仙台空港に集まった人々との交流を楽しむ。
- ・2018年8月～2020年2月の計18回開催（1回中止）で約40団体、約500名が出演した。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年3月～現在まで地域交流イベントは休止している。

【地元企業・店舗誘致による地元住民の顧客化促進】

- ・名取、岩沼市を中心に宮城県内に出店している企業や店舗を仙台空港に催事ショップとして誘致し県外から来る旅客には地元産の商品PRを行い、旅客以外の地元住民には飛行機には乗らずとも仙台空港に遊びに来る仕組みを作り仙台空港の顧客化を図る。
- ・食品以外にもハンドメイドの物産展・子供向けワークショップを行う団体を誘致し仙台空港に家族連れでの来港を促し、仙台空港内での食事や買い物など買い回り策を実行

(出典) 仙台国際空港ウェブサイト

#### 4)地元向けイベントの実施

##### ① 子ども向けイベント（パシフィコ横浜）



- ・パシフィコ横浜では、「はまぎんこども宇宙科学館」と連携し、ステンドグラスに描かれた星空の世界の紹介と、みなとみらいで実際の星空を天体望遠鏡で観察するイベント「みなとみらいで星空観察会」（2015年開始）を定期的で開催
- ・その他、「ヨコハマ恐竜展 2017」において、横浜市内の児童福祉施設などの子どもたちを無料招待するイベント「こどもミライ応援プロジェクト 太古の森にタイムトリップ」の開催や、横浜市・横浜市教育委員会主催の「子どもアドベンチャー2015」において、MICE業界の仕事を子どもたちに紹介するイベントを企画・実施している。

（出典）パシフィコ横浜ウェブサイト

##### ② CLUB ARIAKE（東京ビッグサイト）



- ・2014年に東京ビッグサイトが、立地する有明南エリアの事業者とともに「有明エリアマネジメント連絡会」を発足
- ・さらに、2019年から有明南地区の就業者や学生に向けたイベント開催（クリーンアップ活動、ナイトビューヨガ等）や有明の魅力を高める情報発信のために「CLUB ARIAKE」を立ち上げ、有明地区への愛着を深めてもらうための取組を実施している。
- ・新型コロナウイルス流行の影響により2020年3月より活動休止中

（出典）東京ビッグサイトウェブサイト

### 3 世界から人を呼び込むエリアの形成

世界から国際観光都市に人を呼び込み、訪れた人の満足度を高めるため、SNS やウェブを活用したプロモーションの事例や、MaaS 等の最先端技術を活用した事例を整理した。

#### (1)世界から人を呼び込む強みの活用

##### 1)SNS・ウェブを活用したプロモーション

###### ① カンサイ ジーン -IMPRESSIVE KANSAI-



- ・新型コロナウイルス収束後の東アジアからの観光客回復につなげるため、近畿運輸局が関西広域連合と連携し、関西の安心・安全対策と合わせた広域観光プロモーション動画を4言語（中国語、英語、韓国語）で制作
- ・東アジア向け各種イベント及び関西広域連合ウェブサイトやFacebook、公式YouTubeチャンネル等にて放映するとともに、海外旅行会社約1,500社にメールマガジンにて案内

(出典) 一般財団法人関西観光本部ウェブサイト

② インスタグラム「FindYourYokohama」(神奈川県横浜市)

横浜市公式 Instagram 企画展

**“Find Your YOKOHAMA”**

**2021**

2021.3.12(FRI)~2021.3.14(SUN)

📍開催場所 横浜市庁舎アトリウム



**#yokohamatomorrow**

- ・海外での横浜の認知度やブランドイメージ向上を目的に運営されている神奈川県横浜市の公式アカウント
- ・英語と日本語の二か国語を掲載し、多数のハッシュタグをつけて情報発信を行う。
- ・営業時間や入場料、イベントの様子など観光地の情報が英語でまとめられている。
- ・2021年3月には横浜市公式Instagram企画展を開催

(出典) 横浜市公式 Instagram「@findyouryokohama\_japan」

## 2)オンラインを活用したプロモーション

新型コロナウイルス感染症の拡大により現地へ旅行をすることが困難な状況が続く中、新たな旅の在り方として、オンラインツアーが増加しており、新型コロナウイルス感染症収束後に、実際に現地を訪れてもらうためのプロモーションともなっている。

### ① 訪日体験オンラインガイドバスツアー 鹿児島市内と寿司にぎり体験コース（鹿児島県鹿児島市）



鹿児島市内と寿司にぎり体験コース（イメージ）

- ・株式会社エイチ・アイ・エスは、公益財団法人鹿児島県観光連盟と連携し、訪日体験オンラインガイドバスツアーをベトナム向けに共同で企画・造成。
- ・ツアー行程イメージ
  - 出発場所 鹿児島空港
  - 【車窓からの動画】 国道 10 号線 一般道（左手に、錦江湾と桜島借景）走行風景
  - 目的地 A 【動画】 名勝仙巖園（園内散策／ベトナム人係員の説明・案内）
  - 【体験】 リモート寿司にぎり（ベトナムの日本料理店「ちよだ鮨」にて、寿司職人指導による「3貫（3種）」握り体験）
  - 目的地 B 【動画】 桜島栈橋から桜島フェリーターミナル（フェリー乗船風景&名物うどん紹介）
  - 【車窓からの動画】 桜島フェリーターミナルから有村海岸
  - 目的地 C 【動画】 天然足湯温泉掘り（城山ホテル鹿児島温泉のもとを使用した足湯紹介）
  - P R 動画 鹿児島市観光 P R 動画
  - 到着場所 【動画】 鹿児島中央駅（九州新幹線をバックに駅長のお見送り）
  - 終了
- ・ツアー行程中に鹿児島県特産品が当たるクイズ大会も実施（（特産品例）鹿児島黒牛 500g/4名）し、受動的な動画視聴だけにならないようにしている。
- ・寿司をはじめとする料理を提供する日本料理店の「ちよだ鮨」にて、「グルメ」・「エンターテイメント」をリアルタイムで体感してもらい、能動的に現地への興味や旅の意欲を高めるコンテンツになっている。

（出典）株式会社エイチ・アイ・エスウェブサイト

## ② フリギーによるバーチャル旅行イベント



- IT企業アリババグループが運営する中国の旅行サービスプラットフォーム「フリギー」は、JR西日本と連携し、京都の嵯峨嵐山の観光スポットを中国に生中継する、バーチャル旅行イベントを開催した。
  - 日本在住の中国人旅行インフルエンサーの東京阿鷄氏が、嵯峨観光鉄道のトロッコ列車や竹林の小径、人力車乗車体験、二尊院などを約2時間にわたり紹介した。
- (出典) アリババ株式会社ウェブサイト

③ ハイブリッド工場見学 おおたオープンファクトリー（東京都大田区）



- おおたオープンファクトリーは、区内の工場数が4,000を超え、日本の産業を支えるモノづくりのまちである大田区内の町工場を期間限定で一斉公開し、モノづくりの技術や職人と触れ合うことができる見学・体験イベントとして2012年にスタート
- 11回目となった2021年はオンラインとツアーをメインに開催

(出典) おおたオープンファクトリーウェブサイト

### 3)エアラインとの連携

中部国際空港は全国各地への国内線のネットワークを有している。これら中部国際空港からの就航都市も旅行先として活用し、中部国際空港から立ち寄り可能な都市として、来訪者の行動の選択肢を拡大することが考えられる。



出典：中部国際空港ウェブサイト

(出典) 中部国際空港株式会社提供資料



#### 4)域内外の観光地・観光コンテンツの最大活用

愛知県には、多様で魅力的な観光スポットが多数分布しているとともに、なごやまつり、にっぽんど真ん中まつりをはじめ、県内各地で年間を通じて様々なイベント・祭事が行われており、中部国際空港エリアから道路や鉄道を使って、日帰りで立ち寄ることが可能である。

開催月	自治体	イベント名
4月	小牧市	小牧山さくらまつり
	岡崎市	桜まつり
	犬山市	犬山祭★
	岡崎市	家康行列
	豊根村	芝桜まつり
	江南市	江南藤まつり
	津島市	尾張津島藤まつり
5月	岡崎市	藤まつり
	知立市	知立まつり★
	半田市	亀崎潮干祭★
	一宮市	いちのみやリバーサイドフェスティバル
	名古屋市長	世界コスプレサミット
	豊橋市	花しょうぶまつり(管茂しょうぶ園)
6月	碧南市	花しょうぶまつり(油ヶ瀬遊園地)
	豊川市	豊川市民まつり
	清須市	尾張西枇杷島まつり
	西尾市	西尾祇園祭
7月	春日井	春日井市民納涼まつり
	津島市	尾張津島天王祭★
	一宮市	一宮七夕まつり
	豊田市	豊田おいでんまつり
	岡崎市	岡崎城下家康公夏まつり花火大会

開催月	自治体	イベント名
8月	安城市	安城七夕まつり
	犬山市	日本ライン夏まつり
	蟹江町	須成祭★
	東海市	東海まつり花火大会
9月	刈谷市	刈谷わんさか祭り
	名古屋市長	にっぽんど真ん中まつり
	瀬戸市	せともの祭
10月	清須市	清洲城信長まつり
	常滑市	常滑焼まつり
	春日井	春日井まつり
	名古屋市長	名古屋まつり
	豊橋市	ええじゃないか豊橋まつり
	小牧市	小牧市民まつり
	一宮市	びさいまつり
	刈谷市	万燈祭
	豊田市	小原四季桜まつり
	岡崎市	岡崎城下家康公秋まつり
11月	東海市	東海秋まつり
	新城市	新城ラリー
	新城市	鳳来寺山もみじまつり
1月	稲沢市	そぶえいちょう黄葉まつり
2月	田原市	茶の花まつり
3月	半田市	春の山車まつり

※開催期間が長期間にわたるものは、開始時期で整理

※★はユネスコ無形文化遺産登録「山・鉾・屋台行事」に該当するもの

(出典) 愛知県観光レクリエーション利用者統計

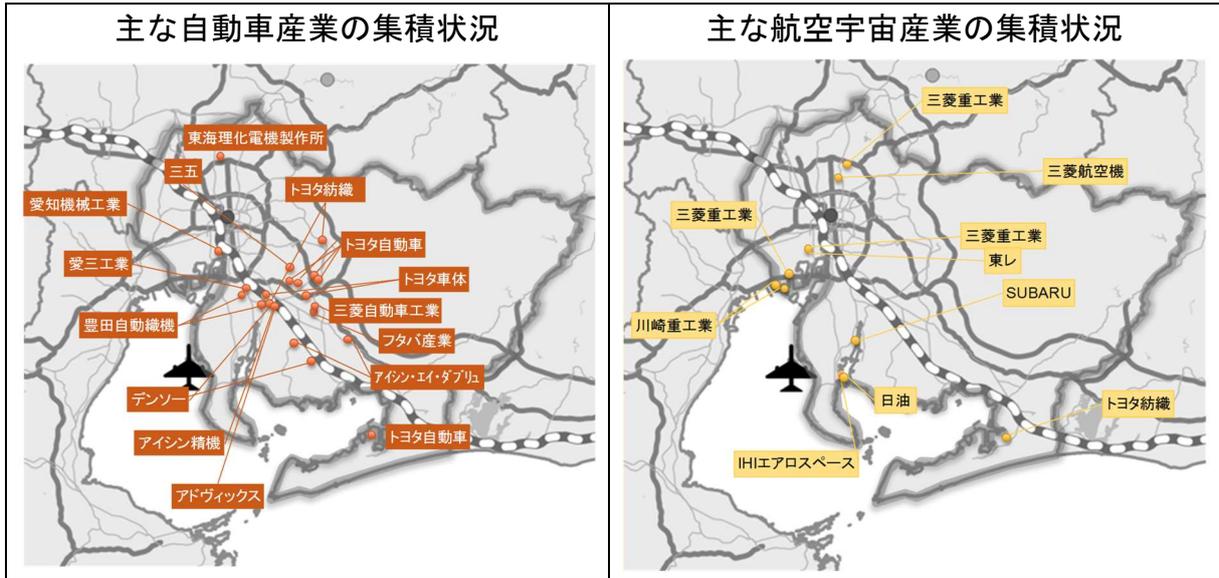
加えて、世界から訪れる旅行者を魅了する全国有数の観光地にも高速交通ネットワークを活用し、当地域の立地的な優位性を発揮していくことが可能である。



(出典) 愛知県「Information Package ～国際観光都市の実現に向けた愛知のポテンシャル～」

## 5)ビジネス交流の舞台としての優位性

中部国際空港周辺を含む愛知県内には、多くの自動車産業関連企業が拠点を構えている。愛知県の自動車産業は全国シェア約4割で全国第1位を示し、とりわけ世界的な完成車・関連部品メーカーが数多く集積している。また、航空宇宙産業も全国の航空機・部品の5割以上、航空機体部品の約8割を生産し、日本屈指の航空宇宙産業の集積地となっている。



(出典) 愛知県「Information Package～国際観光都市の実現に向けた愛知のポテンシャル～」

また、これらの産業の強みを生かし、次世代自動車の開発、自動運転の実証実験が先導的に行われている。加えて、水素ステーション等のインフラ整備が進むとともに、「あいちロボット産業クラスター推進協議会」(2014年11月)の設立、「医療・介護分野ロボット」、「無人飛行ロボット」などの分野において、ロボット産業を振興している。

これらの取組に係る事業者とのビジネス交流を緊密に行う事ができる立地的な優位性が有している。

### ■医療・介護等分野ロボットの実用化



### ■無人飛行ロボットの活用



(出典) 愛知県「Information Package～国際観光都市の実現に向けた愛知のポテンシャル～」

## (2) 来訪者の満足度を高める最先端技術の活用

### 1) 域内移動の円滑化に資する MaaS の導入

愛知県は2022年11月にジブリパークが開業予定の名古屋東部丘陵地域を中心に、混雑の分散・回避など「新しい生活様式」に対応した地域公共交通の実現や、地域住民や来訪者の円滑かつ効率的な移動と地域経済の活性化を目指し、「マルチモーダルサービス導入実証事業」を2021年12月～2022年1月に実施した。

具体的には、対象地域における商業施設や観光施設等のスポットや周遊ルートの提供など、街の活性化に向けた移動したくなるきっかけづくり、予約・決済サービスの提供などを実施した。

本事業で展開した、マルチモーダルモビリティアプリである「my route」は、サービス提供エリアを順次拡大しており、愛知県で8ヶ所目の展開となった。

愛知県、愛知高速交通株式会社（リニモ）、愛知環状鉄道株式会社、沿線7市等の連携により事業を行い、本格導入に向けての課題検討を行った。



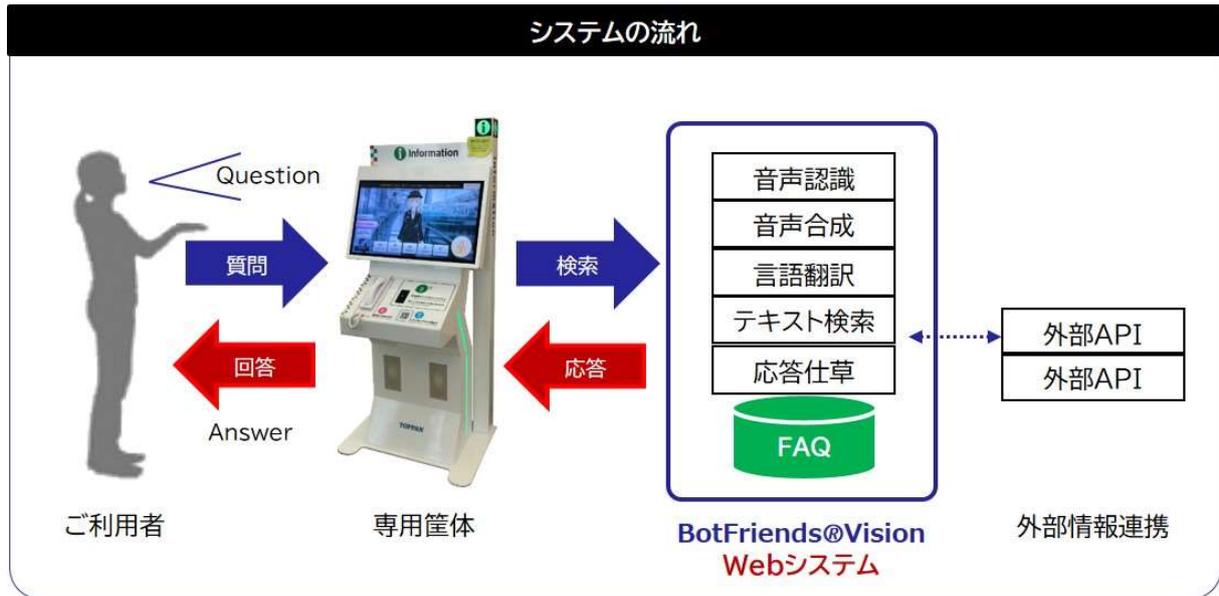
(出典) 愛知県ウェブサイト

## 2)AI 等を活用したコンシェルジュ機能

観光案内所や鉄道駅等での交通案内において、非接触型でかつ無人の案内端末として、音声 AI インフォメーションサービスを活用し、様々な場所での来訪者の質問、問合せに対応していく。

《事例》 音声 AI インフォメーションサービス (Bot Friends ® Vision)

- ・観光案内所や駅等の集客施設のインフォメーションデスク等で利用されている多言語対応した情報端末で、タッチパネルは非接触で操作することができる。



(出典) 凸版印刷ウェブサイト

### (3)最先端のサービス

#### 1)域内の周遊を円滑化する技術の導入(顔認証による入場・サービス手続き)

事前に顔画像、クレジットカード情報を登録することにより、顔認証とキャッシュレス決済機能を融合させ、様々なサービスの提供を受けることが出来る技術が展開されている。

※再掲



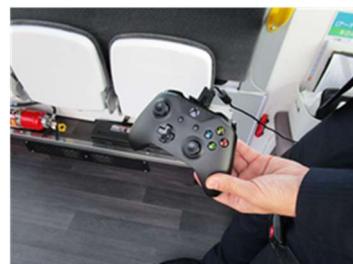
(出典) NEC ウェブサイト ©NEC Corporation 1994-2022

#### 2)自動運転技術を活用したサービス

自動運転技術を活用したサービスは、公道等を使いながら本格導入に向けての実証事業が各地で進められている。

《事例》羽田イノベーションシティ

- 羽田イノベーションシティ内では自動運転バスが運行されている。事前にルートを入力し、GPS や LiDAR を用いて周辺環境読み込むことで自己位置を推定し、自動運転を可能にしている。
- 自動での運行再開が難しい状況では、乗組員による運行支援を行っている (コントローラーで操縦)。運行管理はタクシー会社の日本交通の職員が務め、同乗しながら緊急時の機器操作を担っている。
  - 最終的には完全無人運行ができることを目指している。



(写真) MURC

### 3)観光コンシェルジュ機能

凸版印刷のNIPPON GALLERYの観光万華鏡では、観光客の回遊促進を狙い、マルチ画面タッチパネルサイネージにより、訪ねてみたい観光施設情報をビジュアルから探すことができる。



(出典) 凸版印刷ウェブサイト

### 4)VR・ARを活用したコンテンツ(アクティビティ・イベント)

VR・ARの技術を活用し、地域固有の歴史・文化やアクティビティをその場になくとも再現することにより、観光コンテンツの魅力を的確に伝え、興味・関心を集めるとともに、リアルでの体験を促し、リピーターの獲得にも寄与していくことが考えられる。

山笠台上がりの疑似体験 (福岡県福岡市)



阿波踊りの観覧体験 (東京都杉並区)



(出典) 観光庁「VR/AR等を活用した観光コンテンツ活用に向けたナレッジ集」

## 4 まとめ(国際観光都市として世界中から人々を引き寄せ来訪者の満足度を高める機能)

本章では With/After コロナにおいて、世界各国からMICE参加者や観光客を引き寄せ、さらに滞在中の満足度も高めていく方策を検討するため、国内外の事例を調査した。

基礎的な要素を世界水準に引き上げるとともに、愛知県ならではの強みを付加価値として、世界からも注目される国際観光都市を形成していく必要がある。

以下、国際観光都市の実現に向けて、取り組むべき方向性を項目ごとにまとめ、記載する。

### (1)非日常を演出する魅力的な空間の提供

#### 1)事例調査

- ・ハンダオペラ・オン・シドニーハーバーや、なばなの里では、夜間でも訪れた人が楽しむことができる音楽や光のエンターテイメントを行っている。また、ハウステンボスの3Dプロジェクションマッピングや、北海道上士幌町で行われたクリスマスドローンショーにおいては、先進技術を活用して、映像・光の演出を行っている。
- ・名古屋市のバーミキュラビレッジでは、バーミキュラの料理を提供する「DINE AREA」や、メイド・イン・ジャパンのものづくりを体験できる「STUDIO AREA」を設けている。また、東栄町のnaoriでは、町で採れるセリサイトを使用し、コスメ・バスグッズ作りが体験できる。
- ・東京・京都・大阪に展開しているホテルのMIMARUでは、キッチン・ダイニングを備えており、中長期滞在を狙っている。また、香川県の宿泊施設であるURASHIMA VILLAGEでは、宿泊棟とは別に大人数での会食やミーティングが可能な棟を設けており、ワーケーションに対応している。

#### 2)取組の方向性

- ・世界有数のエンターテイメントに倣い、昼夜を問わず幅広い世代が楽しめるコンテンツを提供し、非日常空間を演出していくことが国際観光都市としては必要になる。MICE利用者の様々なニーズに対応できるよう、域内外でのアクティビティの充実を図り、気軽にアクセスできる仕組みを構築する。
- ・地域の特産品やご当地グルメなど、世界では未だ知られていない逸品、名産品や国・地域の嗜好に合致したグルメを提供し、満足してもらう事によりさらなる認知度向上に繋げていく。とりわけ当地域に古くから受け継がれる技術による伝統工芸品や、伝統技術から派生する最新の技術にも着目し、日本らしさ、愛知県らしさ、“当地域にしかない”付加価値を提供していく。
- ・エリア内のみならず、エリアを拠点としつつ、エリア外で滞在する長期型の旅行形態を可能とする受入環境を整え、世界各国で導入が進んでいる、プレジャー、ワーケーションに対応出来るよう、必要な施設、環境を整えていく。

## (2)地域の交流の場となる拠点づくり

### 1)事例調査

- ・東京都の MIYASHITA PARK では、渋谷・原宿等の結節点に立地する特性を生かし、新たな歩行者ネットワークの整備や既存ルートの改善、様々なイベント開催を通じ、多種多様な人々の交流を促進する文化発信拠点の形成を目指している。また、岐阜県では、飛騨高山フードバリアフリー協議会が設立され、飛騨高山地域を中心に、コーシャ、ヴィーガン等の食のバリアフリーに対応した地域づくりが進められている。
- ・メッセナゴヤに代表される BtoB の交流イベントについては、オンラインとリアルを融合したハイブリッド型の開催が一般的になっており、オンラインの導入により、通常では参加が難しい海外の企業との交流の活発化が期待されている。
- ・パシフィコ横浜では、みなとみらい 21 地区内の働く人と地元住民の交流を図るため、臨港パークにて「みなとみらい大盆踊り」を開催している。また、東京ビッグサイトは、立地する有明南エリアの事業者とともに CLUB ARIAKE を立ち上げ、有明南地区の就業者や学生に向けたイベント開催（クリーンアップ活動、ナイトビューヨガ等）や有明の魅力を高める情報発信を行っている。

### 2)取組の方向性

- ・当該エリア周辺に居住する地域住民が集い、MICE 参加者等、当該エリアに来訪・滞在する人々と交流するため、空間的な整備に加え、感染症やセキュリティ面の対策や、様々な宗教、文化、食事の主義・制限・アレルギー等について配慮をしていく。また、関係する全ての人々の理解を踏まえ、安心して過ごすことができるエリアを形成していく。
- ・MICE 来訪者が MICE 開催前後に当地域の企業や工場を視察する仕掛け（テクニカルビジット）を構築していく。

### **(3)世界から人を呼び込むエリアの形成**

#### **1)事例調査**

- ・近畿運輸局は、関西広域連合と連携し、新型コロナウイルス感染症収束後の東アジアからの観光客回復につなげるため、広域観光プロモーション動画「カンサイジーン-IMPRESSIVE KANSAI-」を制作した。動画は4言語で制作され、各種ウェブサイトでの放映や、海外旅行会社約1,500社にメールマガジンで配信している。
- ・凸版印刷株式会社のBot Friends<sup>®</sup> visionは、観光案内所や鉄道駅等の集客施設のインフォメーションデスク等で利用されている多言語対応した情報端末により、タッチパネルは非接触で操作することができる。

#### **2)取組の方向性**

- ・来訪した際に現地をより楽しむことができるよう、オンライン技術を活用した訪日前のプロモーションに注力していく。
- ・MICE参加者が滞在期間中、不自由なく、安心して過ごすことができるよう、最先端技術（顔認証技術、自動運転、MaaS、AIを活用したコンシェルジュ機能など）も活用し、満足度を高めていく。